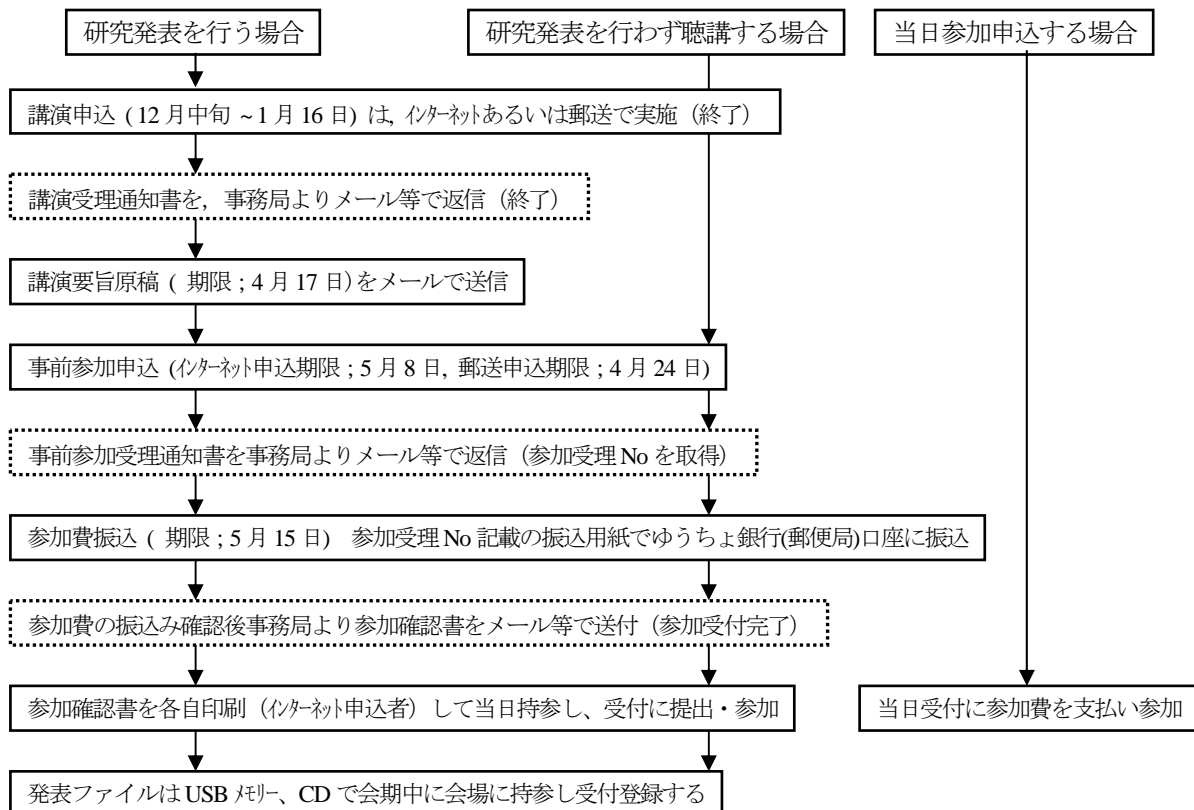


第 18 回環境化学討論会のお知らせ (同時開催：日韓環境化学シンポジウム)

- ☆主 催 日本環境化学会
- ☆共 催 韓国環境分析学会
- ☆会 期 2009年6月9日(火)～6月11日(木)
- ☆会 場 つくば国際会議場(エポカルフくば) (〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3)
<http://www.epochal.or.jp/>
- ☆内 容 大気、水質、土壌、生物、廃棄物、食品、生活用品などの分野で、動態、分析、反応、物性、毒性、衛生、処理、情報、観測などの観点から、化学物質と環境の保全や改善に関する研究内容、およびアジア地域の化学物質汚染等の環境問題に関する研究(国際セッション)。今回は、韓国との研究交流の一環として「日韓環境化学シンポジウム」を同時に開催します。また、学生セッションを新たに設けます。
- ☆申込方法 事前参加申込は、原則インターネットでお願いします。本会のホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jec/>)の「第18回環境化学討論会申込」内に記載している申込方法に準じて手続きして下さい。申込手続き完了後、討論会事務局より参加受理通知のメールが届きます。講演申込者であっても参加申込、参加費が必要です。参加費の振込を確認後、事務局から送付する参加確認書を当日持参し、受付に提示して下さい。また、FAXによる申込は受けませんので、インターネットを利用されない方は、本号添付の事前参加申込書に必要事項をご記入の上、討論会事務局に郵送して下さい。討論会事務局からの連絡・返信は、原則としてインターネット申込者にはメールで、郵送申込者には郵送で行います。

【第18回環境化学討論会の講演申込・参加申込方法の手順】



- ☆申込期限
- 1) 講演要旨原稿 2009年 3月中旬～4月17日(金)
 - 2) 事前参加申込 2009年 4月24日(金) ; 郵送申込(消印有効)
2009年 5月8日(金) ; インターネット申込
 - 3) 事前参加費振込 2009年 5月15日(金) ; インターネット及び郵送申込共
 - 4) 当日参加申込 当日会場で受け付けます
 - 5) 発表用メディア 当日会場で受け付けます

(注) 申込・振込手続きの期限(郵送申込は消印有効)の厳守をお願いします。また、郵送による講演要旨原稿と事前参加申込の両書類を一緒に討論会事務局に郵送して頂いても構いません。ただし、郵送用封筒の上には必ず「講演要旨原稿在中」や「事前参加申込書在中」と朱書きし、内容物が特定できるようにして下さい(郵送用封筒、切手等は各自ご負担をお願いします)。講演受理通知書、事前参加受理通知書及び参加確認書の郵送は、討論会事務局負担とさせていただきます。本誌次号にも郵送申込者用の事前参加申込書を添付する予定です。事務局としては、インターネット申込をお薦めしています。

☆参加費 下表を参照して、各自参加する参加費の合計金額をお振込み下さい。

参加費	一般参加者		学生参加者
	会員	非会員	
討論会(含要旨集)	8,000円(10,000円)	12,000円(14,000円)	4,000円(5,000円)
懇親会	8,000円(9,000円)	8,000円(9,000円)	6,000円(7,000円)
ナイトミーティング(参加費のみ)	1,000円	1,000円	1,000円

(注) ()内は当日受付の金額。懇親会あるいはナイトミーティングに参加するためには、討論会参加費を支払って頂く必要があります(懇親会あるいはナイトミーティングのみの参加は受付ません)。ナイトミーティングの当日受付はしません。ナイトミーティング料金には飲食代は含まれません。

◎事前支払いの方法: 5月15日(金)までに3月号挟み込みのゆうちょ銀行(郵便局)振込用紙(払込取扱票)あるいはゆうちょ銀行備え付けの振込用紙に、下記の記入例に従って、指定ゆうちょ銀行口座[第18回環境化学討論会、口座番号:00180-7-743444]にお振込み下さい(振込手数料は各自ご負担下さい)。振込期限後の参加費の振込は、たとえ事前参加登録をされていても、当日受付扱いになりますのでご注意ください。

【参加費振込時における払込取扱表(郵便局振込用紙)の記入例】

記入内容等	口座番号:00180-7-743444	加入者名:第18回環境化学討論会	振込金額:26,000円
通信欄記載事項とその記載例	(1)参加者名(3名まで記載可)(2)参加受理No(事前参加受理通知書中に記載;必ず記入)、(3)一般/学生の分類および会員/非会員/賛助会員の分類の明記、(4)参加費の内訳:討論会(名)、懇親会費(名)及びナイトミーティング(名)		
右記の(1)~(4)に従って例のように記載し、参加金額を振込	例:環化太郎 000123、一般会員、環化花子 100045、学生会員、参加費内訳:討論会(2名)16,000円、懇親会(1名)8,000円、ナイトミーティング(2名)2,000円		
ご依頼人欄(例)	住所:〒000-0000 環境県環化市討論町14-1	氏名:環化 太郎	TEL:000-000-0000

(注) 連絡先:ご依頼人欄には、所属機関住所・氏名と電話番号を必ず記入して下さい。

◎参加確認書:参加費の振込を確認後、メール等で参加確認書を送付しますので、事前参加申込の受付完了を必ずご確認下さい。以上、学会運営に対する討論会事務局による事前準備等のために、皆様の事前参加申込へのご協力をお願いします。

【主な企画行事の概要】

諸事情によりプログラムの時間および内容が変更になる場合がありますので、ご注意ください。

☆ 特別講演

日時：6月9日（火）15：10～15：50 会場：A会場（大ホール）

特別講演Ⅰ Kim, Sam-Cwan 先生（韓国環境分析学会会長）

日時：6月10日（水）14：40～15：20 会場：A会場（大ホール）

特別講演Ⅱ 森田昌敏 先生（日本環境化学学会会長）

☆ 受賞講演

日時：6月10日（水）15：50～16：50 会場：A会場（大ホール）

今年の日本環境化学会功績賞、学術賞などの受賞者にご講演いただきます。

☆ 日韓環境化学シンポジウム

日時：6月9日（火）～10日（水） 会場：F会場（大会議室102）およびポスター会場

韓国環境分析学会と共同で日韓環境化学シンポジウムを開催します。韓国側研究者との交流、意見交換、共同研究へ向けての協議などの場として、ご活用ください。講演は両国の母国語を基本とし、事前翻訳原稿の同時映写等を予定しています。プログラムは、HPに掲載します。

☆ ナイトミーティング

日時：6月9日（火）18：00～20：00

会場：当日、セッション（テーマ）別に用意された会議室をご確認下さい。

会費：1,000円（参加費のみ）

学会発表とは別に、分野ごとに集い、研究の悩みや進め方を仲間作りも兼ねて語り合いませんか？今回は、中堅・若手研究者世話人の進行でミーティングが開催されます。

- * ナイトミーティングのみの参加はできません。事前参加申し込みをお願いします。
- * 会場への弁当、飲み物の持ち込みはかまいません。
- * 当日午前中、受付付近で夕食用弁当セット（弁当+飲物=1,000円程度）の予約販売を行う予定ですのでご利用下さい（夕方17時ごろにお渡しいたします）。

【ナイトミーティングのセッション番号（テーマ）と概要】

* 事前参加申し込みの「ナイトミーティング」欄に参加したいセッション（テーマ）の第一希望および第二希望をご記入下さい（各セッションの参加人数予測のためのアンケートです）。

1. 残留性有機汚染物質【世話人：高澤嘉一（国環研）】

【概要】これまでとは趣向を変えて、PRしたい内容のある方には事前にエントリーして頂き、当日は各PR発表（5～10分間）+フリートーク形式で議論を進めます。内容はPOPsに関するものであれば、研究や製品の紹介、共同研究募集、学生の方の自己PRなどいずれもOKです。PR希望者は、5/15（金）までに世話人（takazawa@nies.go.jp）に氏名、連絡先および100字程度の概要をお送りください。応募多数の場合には一任願います。なお、PR希望者以外の方は世話人への事前連絡は不要ですので、気軽にお立ち寄りください。

2. 多環芳香族化合物【世話人：伏見暁洋（国環研）】

【概要】多環芳香族化合物（PAHsやその誘導体）などの化合物に関する自由な議論の場にしたいと思えます。特に、新しい測定法・物質・解析法・発生源や公定法による測定などについて活発に意見交換できるとよいなと思っています。測定で困っていることについての相談・議論というものもよいかもしれません。もちろん、毒性やリスクの観点からのご意見や話題提供も歓迎します。

3. LC-MSで測る【世話人：吉田寧子（住化分析センター）】

【概要】LC-MSは微量有機化学物質を検出する有力な手段として発展しつつあります。今回は、「LC-MSを用いた分析法開発」について話題提供のあと、座談会的に経験交流を行う予定です。日頃の疑問や今後のLC-MS技術の方向性、あるいは失敗談等も含め、ざっくばらんに意見交換できるように進行したいと考えております。学生の方やLC-MS初心者の方も是非気軽にご参加ください。

4. 有害微量元素 一食の安全について考えるー【世話人：前島勇治（農環技研）】

【概要】茨城県神栖町（現、神栖市）の農業用井戸水と収穫された米からジフェニルアルシ酸等の有機ヒ素化合物が検出され、有機ヒ素化合物による土壌・地下水・農作物汚染が問題となっています。そこで本ミーティングでは、環境試料中の有機ヒ素化合物を一例に取り上げ、その測定方法や農作物の有機ヒ素汚染について話題提供をしていただく予定です。さらに、皆さんとともに、有害微量元素（カドミウム、鉛、ヒ素など）をめぐる食の安全について、フリーディスカッション形式で情報交換を行いたいと思います。

5. PPCP【世話人：山本裕史（徳島大学）】

【概要】新規環境汚染化学物質として、医薬品やパーソナルケア製品等(PPCPs)について、分析や生態影響など様々な視点からの研究が近年増えている。しかし、様々な生理活性を有するPPCPsについて、低濃度・長時間の複合曝露が想定される状態で従来型の生態影響試験のエンドポイントで対応できるのか、様々な官能基を有しており中性域でイオン化している物質が多く、通常のオクタノール・水分配係数をベースにした水環境中動態や生物濃縮の推定は難しいのではないかなどの課題が多数存在する。この環境中PPCPs問題の課題とこれからの展望について議論する。

6. 廃棄物【世話人：滝上英孝（国環研）】

【概要】廃棄物、循環資源に関する環境化学的な話題、議論を持ち寄るということで参加をどうぞよろしくお願いします。E-waste、簡易分析、有害物質、アジア、適正処理処分、ごみ質、REACH、リサイクル、食品、レアメタル、アスベスト、不法投棄、ライフスタイル、マイバッグ・・・、議論百出、会議は踊る？参加者の皆さんがリラックスして一言、しゃべって帰れる会にしたいですね。

7. 環境毒性【世話人：中島大介（国環研）】

【概要】化学分析をしていて、「測定値は出たけど、この濃度って実際に害があるのか？」と思ったことありませんか？ バイオアッセイをしていて、「いったいこの毒性の原因物質は何なのだ？」と思っていませんか？ 化学屋が生物屋に調べて欲しいこと、生物屋が化学屋に測定して欲しいもの、お互いに無理難題を言い合って、高い敷居をちょっと下げましょう。バイオアッセイを中心に研究している方はもちろん、毒性はわからん、と言う方の参加もお待ちしております。新しい研究パートナーやアドバイザーを探す機会になるかもしれませんよ。

8. 生態影響評価【世話人：石橋弘志（愛媛大学）】

【概要】バイオアッセイに関する何でも意見交換会を開催します。今更、上司や先生には聞けない素朴な疑問。実は自分はこのように工夫してやっているのだけど、皆さんもどうですかといったアイデア。自分はこのことをやってうまく行ったという自慢話。これからこんなことをしてみたいのだけど、皆さんどう思いますかといった相談。何でもありです。講師は無しにします。質問も回答も今回来ていただいた参加者の皆さんが主役です。最初から最後まで雑談に終わるかもしれませんがそれでも良いという方、お集まりください。

9. 環境動態【世話人：堀口敏宏（国環研）】

【概要】化学物質の環境中における挙動や運命を調べる際、正確な測定値を追求し、それを基に論を展開することが、基本的に重要と思います。しかし、生物への影響や社会的な意味まで論じることができれば、さらに素晴らしいのではないのでしょうか？ そのためにはどうすれば？ 化学屋と生物屋、社会科学屋などとの協働？ サンプルングを含めた調査計画を十分に練って立案？ ここでは、分析のプロの仕事をもより意義深くするため、サンプルング調査計画の立て方、測定データの読み方、さらに掘り下げるための調査などについて、広く意見交換したいと考えています。

10. 環境モデル【世話人：今泉圭隆（国環研）】

【概要】環境モデルに関することをザックバランに話しませんか？ テーマは、モデルの限界や現状、モデル使用時の疑問点、現場から見たモデルの長所・短所・課題、今後の環境行政・環境研究の中で環境モデルが担う役割などなど。基本的にはフリーディスカッションにしたいと考えています。環境モデルの開発者だけでなく、環境モデルを利用している方・したい方や現場の経験が豊富でモデルに興味がある方にも是非参加して頂きたいです。

11. 日韓研究者交流【世話人：門上希和夫（北九州市大）】

【概要】「韓国」、近くて遠い国だったのですが、ワールドカップや韓流などで本当の意味で身近な国になってきました。しかし、韓国の化学物質に関する研究や汚染状況について良く知っている人は少ないのではないのでしょうか。本討論会では、日本環境化学会と韓国環境分析学会で初めての日韓シンポジウムを開催します。これを機会に、化学物質の分野でも相互交流を深めようと言うことで企画しました。まずは自己紹介から始めます。日韓から多くの方の参加を待っています！！

☆ 国際セッション

日時：6月9日（火）～10日（水） 会場：E会場（大会議室101）

世界各国の化学物質汚染等の環境問題に関するセッションで、海外の研究者による講演と意見交換を予定しています。国際的な知見を深め、各国の研究者と問題意識を共有できる良い機会です。国際的共同研究やビジネスの海外展開のヒントが見つかるかもしれません。プログラムは、HPに掲載します。

☆ 学生セッション

日時：6月9日（火） 会場：C会場（中会議室201）

学生限定の講演セッションです。約60題の申し込み課題の中から、抽選により22課題を選択しました（プログラム中に記載。変更の可能性がありますので、最新情報はHPで確認してください）。発表技術、内容、質疑応答、判りやすさなど、さまざまな観点から審査し、優れた発表には「ナイスプレゼンテーション賞」として最終日のハイライトセッションの中で表彰します。学生セッション発表者は、本来の発表に加え、学生セッション（口頭発表6分、質疑応答5分）の準備をお願いします。

☆ ハイライトセッション

日時：6月11日（木）10:30～12:30 会場：A会場（大ホール）

全ての発表を対象に、研究動向やトピックス等について、テーマ別に統括・紹介します。

「全体の動向」	吉永 淳（東京大学）
「ダイオキシン類」	中野 武（兵庫県立健康環境科学研究所）
「BFRs、POPs類」	太田壮一（摂南大学）
「農薬、PFOS/PFOA、他有機化合物」	鈴木 茂（中部大学）
「重金属、無機元素」	田尾博明（産業技術総合研究所）
「ナイスプレゼン賞（仮称）と挨拶」	柴田康行（国立環境研究所）

☆ 企業展示会

日時：会期中 会場：多目的ホール及び大会議室（101及び102）前の通路

企業（大学や研究機関を含む）のPRの場として、製品、カタログ、書籍等の展示を行います。スタッフが分かりやすく解説します。また、展示会場内に憩いのコーナーを設けます。休憩やビジネスに是非ご利用ください。

☆ ランチョンセミナー

日時：6月9日（火）及び10日（水）12:00～13:00 会場：A～F会場

企業主催のセミナーを昼食時間に行う予定です。本セミナーは、主催企業が皆様に役立つ情報の提供や、新製品の紹介等を行うもので、研究や仕事を進めていくために極めて有益かつ最新の情報を得る絶好の機会です。セミナー参加者には、昼食を提供いたします（先着順）。プログラムは、HPに掲載します。

☆ 懇親会

日時：6月10日（水）18:30～20:30 会場：ホテルグランド東雲（<http://www.hg-shinonome.co.jp>、TXつくば駅より徒歩約5分） 会費：8,000円（当日9,000円）、学生6,000円（7,000円）

表彰式、総会終了後、つくば国際会議場から懇親会場行きの無料バスを予定しています。毎年恒例のビンゴゲームなど楽しい催しを企画しておりますので奮ってご参加下さい。

☆ 宿泊について

討論会では、宿泊の手配や斡旋を行いません。

宿泊場所の詳細につきましては、以下の URL を参考にしてください。なお、宿泊に関するトラブルは、討論会事務局では一切関知しませんので、ご了承の程、お願いいたします。

宿泊ガイド（エポカルつくば提供）：<http://www.epochal.or.jp/hotels/index.html>

宿泊施設（エポカルつくば提供、一覧）：http://www.epochal.or.jp/hotels/hotel_list.html

☆ 託児サービスについて

実行委員会では、乳幼児同伴の方のために、出張託児サービスを検討しております。期間は会期中の講演開始 30 分前から終了 30 分後まで、会場内に託児室を設け、保育士に常駐してもらうことを予定しています。

- * 参加申込書およびオンライン参加申込ページにアンケート欄を設けましたので、サービスを希望される方は、ご回答お願いします。
- * 実施が困難と判断された場合には、サービスを行わない場合がありますので、ご了承ください。
- * 実施が決定された場合には、希望者に案内の電子メールをお送りします。

☆ 申込先および連絡先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

国立環境研究所化学環境研究領域 第 18 回環境化学討論会事務局

TEL : 029-850-2736 FAX : 029-850-2573 e-mail : 18kktoron@nies.go.jp

☆第 18 回環境化学討論会実行委員会（敬称略・五十音順）

実行委員長： 柴田康行

実行副委員長： 伊藤裕康、貝瀬利一、小森行也、鈴木規之、田尾博明、高田秀重、西川雅高

実行委員： 浅見真理、伊藤信靖、岩切良次、殷 熙洙、榎本孝紀、大橋 眞、小野寺祐夫、加藤 修、金丸 新、河原 進、川本克也、神田広興、橘和丘陽、日下部武敏、小原裕三、櫻井健郎、佐々木裕子、塩崎卓哉、四ノ宮美保、白石不二雄、白戸嘉一、白根義治、清家伸康、高澤嘉一、滝上英孝、瀧川義澄、竹田津研、鑪迫典久、中島大介、西島宏和、野口政明、野馬幸生、橋本俊次、原田勝仁、馬場啓之、藤峰慶徳、松村 徹、三富則栄、安原昭夫、山本貴士、吉岡浩実、吉田綾子、吉永 淳、渡邊 泉

☆ 会場案内
交通アクセス



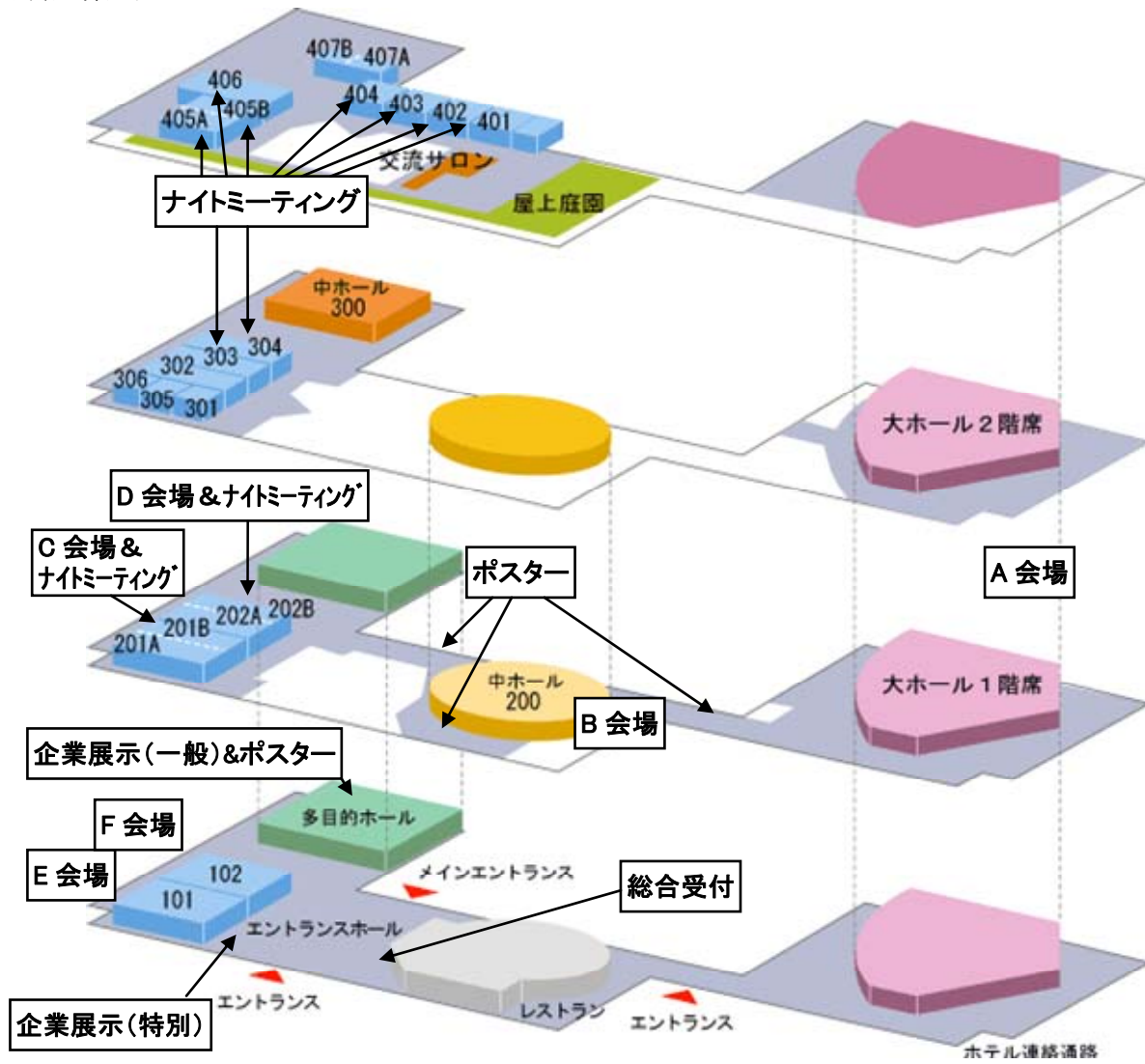
- * つくば発—成田行のバスは予約が必要です。
- * 成田空港バス乗り場案内図[第1旅客ターミナル][第2旅客ターミナル]

周辺地図



- * 駐車場（有料）は限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- * つくば国際会議場までは、TX つくば駅より徒歩約10分。

会場内案内図



☆講演要旨作成要領

講演要旨は原則として電子媒体での送付とします。討論会事務局宛に電子メールへ添付する形で送付願います。送付いただくファイルは、原則PDF形式とします。講演要旨は事務局でプリントアウトした後、オフセット印刷により講演要旨集に掲載します。「講演要旨原稿用紙」、「講演要旨作成要領」および「返信用封筒」等の送付はいたしません。

【講演要旨作成マニュアル】

今回は、図表のタイトル及び内容については、可能な限り英文で作成してください。各自のワープロソフトを用いて、以下に示す書式に設定して頂き、講演要旨（右図：様式 1 と 2 を参照）を作成して下さい。記載内容は、過去の討論会要旨集の記載例を参考に作成して下さい。なお、Microsoft Wordを用いて要旨作成を行う場合は、環境化学会のホームページの「環境化学討論会」にあるWord用テンプレートをダウンロードして、下記の書式設定条件を確認後、作成・印刷して頂いても結構です。ワードファイル作成後、PDFファイルに変換したものをお送りください。

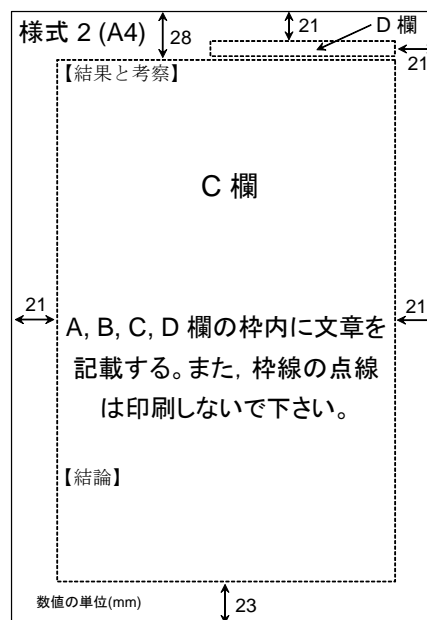
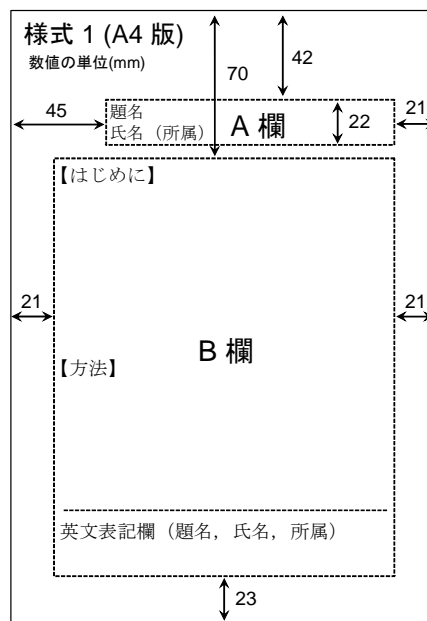
(A) 用紙サイズ：縦 297 mm × 横 210mm (A4 上質紙)、余白：様式 1 と 2 を参考に余白を設定して下さい。

(B) 使用フォント等：和文フォントは、MS明朝、MSP明朝、平成明朝等の明朝体のフォントを使用して下さい。英文フォントは、Times, Times New Roman, Century, Symbol等のフォントを使用して下さい。図表を除く本文中の和文および英文にはゴシック体のフォントの使用は出来るだけ避けて下さい。また、フォントサイズは 10.5 ~12 ポイント、行送りは 14 ~16 ポイント等の標準の行送りをお願いします。

(C) 記入事項：様式 1 のA欄には、題名、氏名、所属を記載して下さい（B欄の下部には英文で表記）。様式 1 のB欄と様式 2 のC欄には、目的、方法、結果、考察等を記載して下さい。また、様式 2 の右上のD欄には、ポスター発表の方は、[第 18 回環境化学討論会、登壇者氏名、ポスター発表（つくば；2009 年）] の様に 1 行以内（フォントサイズを調整）で記載して下さい。

口頭発表の方は、上記の [] 内の「ポスター」を「口頭」に変えて同様に記載して下さい。英文で作成する方

は、D 欄内に [18th Symposium on Environmental Chemistry, Speaker's name, Oral presentation (Tsukuba; 2009)] の様に記載して下さい。上記下線部の登壇者氏名 や Speaker's name とは、実際に、講演要旨の内容を発表・説明する人を指します。



- (D) その他の注意：今回は、図表のタイトル及び内容については、可能な限り英文で作成してください。実際の要旨集では約 86%に縮小印刷されます。また、白黒で印刷されますので、カラーの使用は避けて下さい。文字・画像の網掛け等はずぶれる恐れがありますので注意して下さい。なお、討論会までの講演要旨集の編集期間が短いことから、要旨の提出・郵送の期限(4/17)の厳守へのご協力を重ねてお願いいたします。電子メールによるファイル送付が困難な場合には、事務局までご連絡ください。

☆発表方式

口頭及びポスター発表で行います。口頭発表は、原則として液晶プロジェクターでの発表とします。ポスターは6月9日～10日の2日間掲示し、終日閲覧可能な状態にします。

【口頭発表マニュアル】

- (A) 発表時間：発表時間は、一般講演は発表10分、質疑応答3分の計13分、学生セッションは発表6分、質疑応答5分の計11分、国際セッションと日韓交流シンポジウムは、発表12分、質疑応答3分の計15分です。また、個人的要因によって発表時間を超過した場合には、たとえ発表の途中であっても打ち切られることがありますので、ご注意ください。

(B) 発表手順：

1) ファイルの作成方法：

- (a) ファイル形式等：講演ファイルはMicrosoft PowerPoint® 2003あるいは2007形式で作成して下さい。ファイルの容量は10MB以下として下さい。送付前に必ず発表スライドの動作確認を行って下さい。動画の動作についての保証はしかねますのでご了承願います。
- (b) ファイル名：「セッション番号_演者の氏名.ppt」として下さい。（例：「1A-1_環化花子.ppt」）
- (c) メディア：CD-R または USB メモリー（特殊なドライバーを必要としない物）を使用して下さい。
- (d) ウイルス対策：講演ファイルとメディア両方の、ウイルスチェックをお願いいたします。

2) 講演ファイルの受付：

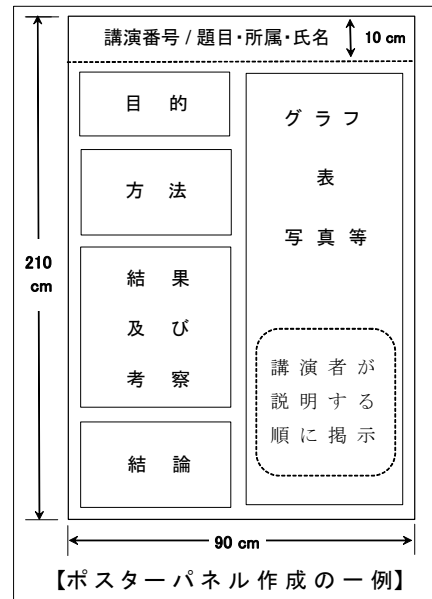
- (a) 発表者は、講演ファイルを、CD-R または USB メモリーにより、発表会場の「講演ファイル受付」までご持参ください。
- (b) 講演ファイルの受付は、各発表セッション（例えば1A、1Cなど）開始30分前までにお願いします。担当者がファイル名等を確認し、ファイルの読み込みを行います。初日（6月9日）の午前中は講演ファイル受付が混雑するおそれがありますので、初日午前の発表者は早めの受付をお願いします。なお、開催期間中は随時、講演ファイルの受付を行います。

3) 発表方法：

- (c) 各講演会場の演台に講演ファイルを読み込んだノートパソコン（OSはMicrosoft Windows® XP、使用ソフトはPowerPoint® 2007）と液晶プロジェクターを設置しますので、講演者自らがノートパソコンを操作し、講演を行って下さい。緊急的な処置を除いて、個人のパソコン持ち込みは、プログラム進行の支障になる可能性があるため、お受けできません。
- (d) 講演ファイルは、大会終了後に、実行委員会が責任を持って消去します。

【ポスター発表マニュアル】

- (A) ポスターパネルの作成法：講演 1 題当たりのポスターパネルの貼付スペースは、A0（縦 210 cm × 横 90 cm）（右図参照）とします。ただし、パネルの最上部 縦 10 cm の部分には必ず、講演番号、題目、所属、氏名を印刷あるいは記入した用紙を貼って下さい。パネルへのポスターの貼付は会場に用意してあるピンを使用し、撤収時に返却下さい。
- (B) 当日の受付：発表者は、持参したポスターを貼り付ける前に、ポスター会場に設置する「ポスター受付」で受付を済ませ、担当者の指示に従ってください。



- (C) 発表手順：ポスターは 6 月 9 ～ 10 日の 2 日間に渡って掲示し、参加者がいつでも閲覧可能な状態にして頂きます。コアタイム（1 時間 30 分）には、ご自身のポスターの前に立ち、閲覧者からの質疑に応答するよう努めてください。
- 1) 会場：多目的ホール（1F）中ホール 200（2F）、2F コンコース他
（注）ポスター会場の詳細は、当日お渡しする講演要旨集に記載してあるポスター会場案内を御確認下さい。
 - 2) 貼付：6 月 9 日（火） 8：30 ～ 11：00（全ポスター発表者）
 - 3) 発表：6 月 9 日（火） 奇数番号（コアタイム； 13：40 ～ 15：10）
6 月 10 日（水） 偶数番号（コアタイム； 13：10 ～ 14：40）
 - 4) 撤収：6 月 10 日（水） 発表終了後 18 時までにご利用します。撤収は必ず発表者の責任でお願いいたします。

討論会における研究発表の特許手続上の証明について

本会は特許法第30条第1項の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」に指定されておりますので、本討論会において文書をもって発表し、

(1) その発表した日より6ヶ月以内に(討論会講演要旨集発行の日より起算)、その発明者が実用新案または特許について『「特許法第30条第1項の適用」を受けようとする旨を記載した書面』を特許出願と同時に特許庁長官に提出し、

(2) さらに、その発明、考案が『本学会開催の討論会で発表されたものであることを証明する「本学会発行の証明書」を出願の日より30日以内に特許庁長官に提出するとき』は、その発明、考案は新規性を失わないと認められることとなっています。この際、討論会講演要旨集に記載されていることがらに関しては、刊行物と見なされるので当然保護されます。したがって、討論会講演要旨集に記載のないことがらについての発表を保護の対象としたいときのみ、別に文書を本学会に提出することになります。それには、

(イ) 発表者は、発表のもとになる「文書」(全部または必要部分)を作成して、あらかじめ座長に提出し、発表後、口頭で発表したことの事実を座長に「確認」してもらいます。(討論会講演要旨集のコピーのみを特許庁に提出される場合は座長の確認は必要ありません。)

(ロ) 座長の確認を受けるには、次の例に示すような「確認書」を発表者が作成して、上述の「文書」と共にあらかじめ座長に提出します。

(ハ) 出願者が本学会発行の証明書の特許庁長官に提出するときには、座長の捺印した「確認書」1通、「文書」2通(正、副)の他、下記の例に示すような「証明書」(学会の控えを含む2通)を作成して、返信用封筒(宛名記入、切手貼付)を同封し、本学会宛その証明書を請求して下さい。本学会では、この証明書に、「文書」のうち1通(正)を添付して返送いたします。

確認書の例
2009年○月○日
日本環境化学会御中
第18回環境化学討論会
座長○○○○ 印
第18回環境化学討論会において、添付の文書のとおり発表があったことを確認いたします。
記
講演日時：2009年6月○日
講演場所：
演題番号：
発表者及び演題：

証明書の例
証 明 書
2009年○月○日
特許庁長官
○○殿
日本環境化学会
会長 森田昌敏 印
本学会開催による第18回討論会において○○は添付の文書をもって発表したことを証明いたします。
記
講演日時：2009年6月○日
講演場所：
演題番号：
発表者及び演題：

(注) 発表者が連名の場合は「確認書」、「証明書」、「文書」とも全員の名前を記入すること。